

FRONTIER

予測できない未来を切り拓くためには、「既存の方法にとらわれず」、自ら適した方法をその都度選択して学び続けることが必要です。ちばっ子の学びに「ICT」という新しい選択肢を増やしましょう。



どうする？家庭との連携

情報モラル教育について、家庭との連携はとても重要です。『教育の情報化に関する手引』では、「情報モラル教育における家庭・地域との連携」において、学校と家庭における理解の共有や家庭に対し理解を促す必要があるとされ、学校で行っている情報モラルの指導の内容を説明するとともに、学校での指導には限界があり家庭での指導が不可欠であることや、指導や啓発における学校と保護者との役割分担について説明することが必要であると記載されており、情報モラル教育の重要性の認識を広めることや家庭との綿密な連携が重要視されています。

ルールづくりだけでなくマナーやフィードバックについても啓発は必要です。



Step 1

「ご家庭でもルールを…」だけでよいの？

「各家庭でルールを設定して使うようにしてください」という願いはほぼ全ての学校で行われているのではないのでしょうか？

では、家庭との連携は、それだけでよいのでしょうか？ 例えば以下のルールについて、その問題点を探してみてください。

- ①夜遅くには連絡をしない。
- ②ネットで友達の悪口を書かない。
- ③ネットで相手の嫌なことをしない。
- ④不適切な写真をアップしない。
- ⑤スマホを使いすぎない。

夜遅くって何時から？

不適切な写真ってどんな写真？

使いすぎって何が規準なの？

いろいろと曖昧なところが多いかな？



ルールはなぜ必要なのでしょう？「ルールの3つの機能」

- ①「やってはいけないこと」の共有
- ②正当な理由
- ③罰則を与える根拠

指導のポイント！

スローガンのようなルールづくりを推奨する前に、

- ①ルールの中の「曖昧さ」を考えさせる。
- ②つくって終わりではなく、
そのルールを守るための工夫を考えさせる。
- ③タイムマネジメントの力を身につけさせる。

合言葉は「 I (今までの学びに) C (ちょっとずつ) T (取り入れる) 」

Step 2

自律できるチャンスにしよう！

①ルール「曖昧さ」を議論するチャンスにする！

形式的につくって終わりではなく、つくる前に議論することがルールづくりのポイント。

『他律』と『自律』

他律…自分の意志ではなく、他人の命令などによって行動すること

自律…常に、自分の意志で判断しながら、行動する

いつまでも他律、つまりルールを守らせるだけでよいですか？

自律を促すためには、子供に「工夫を考えさせること」が重要になります。



②そのルールをどうすれば守ることができるのか？

ルールを破ったことを怒るより、ルールを守るための工夫（システム）を考えさせるのが重要です。そのために、ルールを守れないシチュエーションを考えさせてみましょう。

ルール：スマホゲームは1日1時間

【1日1時間】を破ってしまう時はどんな時？

どう工夫すれば守りやすくなるかな？

対立の原因は、ちょっとしたズレから生まれるすれ違いかも？そこを話し合いながら解決していくことが子供の自律につながる！



③使いすぎの定義は？使いすぎてしまう理由は？「曖昧さ」を考え議論する！

「そもそも使いすぎてどれくらい？」「時間だけなの？」といったことや、つい使いすぎてしまう理由を考えることで考えを深めていきましょう。

Step 3

使いすぎの見える化とタイムマネジメント力

下の図を参考にしてゲームやSNSなどの「利用時間の見える化」をすることで、客観的に見えるようにし、学級活動などで友人と見比べてみます。そうすることでいつも「〇〇ばかりやって」と叱られていたのが客観的に見る事が可能になります。

タイムマネジメント力を身につけるために、①今日やることを書き出す。②やる「時間」を予想する。③やる優先順位をつける。といった「見える化」を積み重ねていくことが児童生徒の自律につながっていきます。

特別活動で行ったり、おたよりなどで保護者に情報発信を行ったりすることができるのではないのでしょうか？

○やったことに応じて塗ろう ■ ネット・ゲームの時間 // 授業を除く学習時間 ← 睡眠時間

●見本●	気をつけていること：ネット、ゲームは1日2時間まで。夜10時半には寝るようにする。																								
6月3日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5
6月4日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5
6月5日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5
自分	気をつけていること：																								
日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5
日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5
日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5

下の参考資料などを活用して情報モラルについて研修していくことが大切です！

出典：「令和3年度学校教育の情報化指導者養成研修」 講義資料

静岡大学教育学部学校教育講座 塩田 真吾 准教授

参考：独立行政法人教職員支援機構（校内研修シリーズ動画）

「情報社会に主体的に参画する態度を育む指導」

静岡大学教育学部 塩田真吾 准教授

<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/082.html>

千葉県教育庁 学習指導課